

おおだて



令和元年11月1日

134号

# 市議会だより



一般・特別会計決算特別委員会の様子（令和元年9月19日）

令和元年9月定例会（会期 8月27日～9月30日）

主な議案等の審議結果	▶ 2
一般質問	▶ 4
常任委員会から	▶ 8
平成30年度 決算特別委員会	▶ 12
議会報告会のお知らせ	▶ 13
私もひ・と・こ・と	▶ 14

# 主な議案等の審議結果

令和元年  
9月定例会

令和元年9月定例会は、8月27日から9月30日までの35日間の会期で開催されました。

提出された議案は、専決処分の報告が4件と承認が1件、条例案8件、単行案5件、人事案2件、予算案9件、決算の認定20件等、合計52件でした。審議の結果の主なものをお知らせします。



一般質問の様子（令和元年9月3日）

## 専決処分の承認について

- 大館市特別養護老人ホームに関する条例の一部を改正する条例

承認

## 単行案

- 財産の取得について（除雪ドーザ（11トン級）1台）
- 市道路線の廃止について（白沢線）
- 市道路線の認定について（長木川南4号線外6路線）

原案可決

## 条例案

- 大館市印鑑条例の一部を改正する条例案
- 大館市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
- 大館市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
- 大館市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例案
- 大館市へき地保育所設置条例の一部を改正する条例案

ほか3件

原案可決

## 予算案

### 令和元年度大館市一般会計補正予算（第2号）案（主な事業）

・ ふるさと納税システム改修事業費	136万4,000円
・ 私立認定こども園等児童措置費追加	6,551万1,000円
・ たしろ温泉ユップラ管理費追加	5,941万1,000円
・ 除雪費・除雪関連費追加	4億6,854万4,000円
・ 旧大滝温泉スキー場建物等解体工事費	599万3,000円

以上を含め、歳入歳出予算補正額 8億3,899万4,000円

原案可決

## 請願と陳情

9月定例会に提出されたもの

請	・ 扇田市日内トイレの洋式化について	採 択
願	・ 秋田犬会館の改修工事への助成について	継 続 審 査
陳	・ 外国人労働者受け入れ政策の中止を求める陳情	不 採 択
情	・ 大館市におけるPFI事業の全面的な中止を求める陳情	不 採 択
	・ 新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出要請について	継 続 審 査
	・ 消費税率10%への引き上げ中止を求める意見書の提出要請について	//

## 継続審査となっていた請願・陳情

### 【請 願】

- ・ 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出要請について

採 択

### 【陳 情】

- ・ 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外、国外への移転を民主主義及び日本国憲法に基づき公正に解決させるよう求める意見書の提出要請について
- ・ 「沖縄県民は先住民族」との国連の勧告を撤回させることを求める意見書の提出要請について
- ・ 米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進するよう求める意見書の提出要請について
- ・ 臓器移植の環境整備を求める意見書の提出要請について

継 続 審 査

### ● 地方財政の充実・強化を求める意見書

《提出先》 内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、経済産業大臣、内閣官房長官  
内閣府特命担当大臣（経済財政政策）、内閣府特命担当大臣（地方創生・規制改革）

## 大館市立総合病院周辺の カラス対策について

佐々木 公司 議員（令和会）  
さ さ き こうじ



ター等、「支えあい」を生み出す活動、いろいろな形での高齢者の生きがいづくり、地域包括ケアシステムの構築などに取り組む。

### 防犯カメラについて

〔問〕 防犯カメラ（見守りカメラ）の設置・普及はどうなのか。

〔市長〕 今年度は中央公民館に設置する。県警に設置拡大を依頼するとともに、市の施設への設置も検討する。

### 地域共生社会について

〔問〕 市長の描く「ふるさと物語」はいかに。

〔市長〕 未来大館市民を育み、大館を未来に紡ぎ、持続可能なまちを築くことにある。

### 認知症予防について

〔問〕 超高齢社会における認知症予防の3段階の取り組みは。

〔市長〕 認知症予防プログラムの実施やサポートの一の養成等に努める。

### いじめ対策の取り組みは

〔問〕 団塊の世代が後期高齢者を迎える2025年問題への対応は。

〔市長〕 生活支援コーディネー

2025年問題について

〔問〕 団塊の世代が後期高齢者を迎える2025年問題への対応は。

〔市長〕 生活支援コーディネー

タ等、「支えあい」を生み出す活動、いろいろな形での高齢者の生きがいづくり、地域包括ケアシステムの構築などに取り組む。

外に向かって、交流人口の増加のために追加の施策が必要ではないか。  
市民には、優しい行政サービスの提供を第一とすべき

小畠 新一 議員（公明党）  
おばた しんいち



に必ず会えるように秋田犬のシフトを構成する必要があるのでは。フレードコートも必要では。

〔市長〕 秋田犬のふるさととして、秋田犬を飼育する環境整備を継続していく中で、展示に協力していくだけでも秋田犬に会える体制」を目指す。秋田犬の里のフレードコートの設置の検討については、県内外、あるいは国内外から多くの人が訪れる観光施設として、施設内での飲食の提供が求められている状況は早急に解決すべき課題であると認識している。

〔問〕 歴史まちづくりの計画で、地域の共感を獲得し、継続的な景観づくりに努力すべき。

〔市長〕 市では秋田職業能力開発短期大学校との共同研究により、モデルとなるごみステーションを試作し、使い勝手や経年劣化等を検証している。今後、その検証結果を踏まえ、統一ごみステーションの導入を町内の方と意見交換しながら検討する。

〔問〕 大館市の就業人口の3分の1はサービス業である。その担当課が必要ではないか。

〔市長〕 市としては、IT企業の立地促進を進めるとともに、地元企業の安定経営と生産性向上に向け、国、県及び地元商工団体等と連携しながら、大館市中小企業融資制度等を活用し、サービス業への支援を強化していく。

〔問〕 実働部隊の係長ではなく、実働部隊の係長をふやす必要があるか。

〔市長〕 市長のかわりに外に出て交渉できるのは係長級ではない。部長・課長は交渉をスピーディーに進める上で必要と考える。

大館市議会

検索

クリック

## 一般質問

## 「通院、買物、除雪」など

### 高齢者の生活支援について

佐藤 芳忠 議員（市民の風）



〔問〕 2018年7月現在、当市の人口は7万2975人、高齢化率は37・74%。65歳以上の高齢者2万7538人のうち一人暮らしが3820人、寝たきりが829人、認知症が760人という状況です。このような状況から市は、介護が必要になつても住み慣れた地域で暮らし続けられるような施策を推進しています。

市民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていきたいと思っています。しかし通院や買物にバスを利用しなければならない高齢者にとって、バス停までの距離は健康や生活に係る大きな問題です。バス停まで遠ければバスを利用できないため通院や買物ができず、住み慣れた地域で暮らせなくなってしまいます。2045年には2人に1人が高齢者となる当市は、高齢交通弱者の通院と買物への早急な支援が必要なものであります。当市は路線バスの運行維持のため、バス会社に30年度は1億7000万

円もの補助金を交付していますが、平均乗車人員は23人という状況です。町内や集落内の狭い道路を運行できるように、大型バスを10人乗り程度の車に替え、町内や集落内にバス停を設置し、高齢交通弱者の通院や買物への早急な支援をお願いします。

〔市長〕 はつきり申し上げます。やります。暮らしを繋ぐうえで一番重要なのが議員ご指摘の公共交通だと認識しています。市では自動運転の実証試験誘致の取組みをしているところです。ワンボックスカーの導入については課題もありますが道路が狭い地区への運行が可能となり、きめ細かなサービスを提供できることから、議員からご提言いただいた方向性は私もまったく同感です。今後各地域のニーズに合致する公共交通政策の実現に全力で取り組みます。

〔問〕 間口除雪の苦情が多い一部の業者に丁寧な除雪を強く指導し、高齢者の間口除雪の負担を無くするようお願いします。

〔市長〕 このことに関しても私は議員とまったく同感です。何よりも高齢者の皆様の負担を軽減するため、間口に雪の塊が残らないよう、丁寧な除雪作業を行うよう、業者への指導を徹底します。

〔問〕 市長が言われるよう自動運転は素晴らしい物です。ただ私達高齢者には、残された時間はあまり多くありません。ですから自動運転ができるまでの間、ワンボックスカーの早急な運行をお願いします。

一般質問の全文は、12月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

## 「秋田犬の里」

### これでいいのか

相馬 エミ子 議員（市民の風）



体制づくりに取り組み、飲食の提供については、できることから対応したい。議員のきりたんぽ提供のご提案は、関係団体と官民一体で協議し、検討したい。

秋田県にイージス・アショアはいらない

〔問〕 本市の観光拠点として「秋田犬の里」がオープンして3ヶ月、すでに17万人の来場者を迎え、大いに期待を寄せているが、施設に対する評価が余りにも低く驚いています。来場者からは「建物は立派だが中身がお粗末」「一度行ったら行かなくてもいい。つまらない」「飲食する場所もない」「休憩中で犬に会えなかつた」、また、「秋田犬会館があるのに同じような建物は二つもいらない」「税金の無駄遣い」などの厳しい声があつた。市長は、このよう厳しい批判をどのように受けとめ、今後どのように改善を図るのか伺いたい。

〔市長〕 防衛省には、猛省してほしいと思う。県内各議会に提出された請願や首長のコメントは承知しているが、国の専権事項であり、秋田県・秋田市が再調査結果を待つため、本市が賛否を示す立場にはいと見える。冷静に議論していくことが大切である。

## 正札竹村跡地の活用について

阿部 文男 議員（令和会）  
あべ ふみお



石田ローズガーデンの改築と  
市の偉人・先人について

〔問〕 市では石田ローズガーデン  
敷地内にレストランや宿泊施設の建  
設計画があるとの話が聞こえてきた。

〔問〕 平成26年に「立地適正化計  
画制度」が設けられたが、時代の変  
遷による人口構成や居住環境の変化  
に伴い、まちづくりの考え方も変化  
していくべきではないか。今そこに  
必要なものを必要なところに配置し  
てこそ、まちづくりではないかと考  
える。町の中心に暮らしていながら  
買い物や病院通いなどに不便を感じ  
ている市民のために、跡地に「街  
の駅」を建設してもらいたい。各地  
の道の駅の機能と交流スペースを設  
けることで大町にぎわいを取り戻  
してほしい。

〔市長〕 旧正札竹村本館棟周辺で  
は民間主体の町再生の動きがあり、  
市も期待を寄せていく。今後は、民  
間主体の取り組みを注視し、議員ご  
提言の趣旨や市の意向を反映できる  
よう努め、町全体の再興につながる  
よう模索していきたい。

## 大館市の移住・ 定住政策について

日景 賢悟 議員（令和会）  
ひかげ けんご



## 一般質問

大館市議会

検索

クリック

〔問〕 交流人口と定住人口の間に  
いる「関係人口」の拡大策が必要で  
あり、若い世代の地域への志向の変  
化が生まれている中で、市の交流・  
関係人口を移住・定住につなげる政  
策を問う。

〔市長〕 大館の礎を築いてこられ  
た先人の顕彰は非常に重要と認識し  
ている。旧石田邸は寄附いただいた  
ご遺族から観光振興と故石田博英氏  
の功績の紹介に活用してほしいと切  
にお願いされている。また、石田ロ  
ーズガーデンは歴史まちづくりの重  
点区域内に位置しており、観光客を  
呼び込む重要な拠点であることから、  
秋田犬にもペットにも優しい大館を  
体感できる町歩きの観光拠点として  
整備することが最もふさわしい活用  
方法だと考えている。

〔問〕 移住・定住の障害になつて  
いる原因を分析しているか。

〔市長〕 移住相談会やAターン  
フェアなどで多く寄せられる声から  
すると「仕事」「住居」「子育て」「日常生活」  
が主な原因だと分析している。  
〔問〕 原因解決のため「有効な対  
策」を行つてあるか。

〔市長〕 地元企業とのマッチング  
や、創業支援、空き家の紹介、定住  
奨励金、高い教育力の発信と子育て  
支援メニューの紹介などを行い、不  
安や悩みの軽減につなげている。  
〔問〕 政策を結果に残す方法論や  
スキームがあるか。

〔市長〕 移住の決め手として、移  
住コーディネーターや先に移住して  
いる人などの出会いが大きな要因で  
あることから、信頼関係を第一に、  
相手に寄り添い、心に響くような対  
応に努める。また、対応マニュアル  
は重要と考え、その作成について今  
後検討する。

〔問〕 数値目標はあるか。ターゲットは明確か。

〔市長〕 年間20人を目標とし、平  
成30年度の移住実績は20人で2年連  
続目標を達成している。なお、その  
うち16人がUターン者であることか  
ら、Uターン希望者へのアプローチ  
が効果的と考えている。

〔問〕 平成30年度実績で、ふるさと  
納税の返礼品は6万1600個以上  
送られている。この返礼品に移住・  
定住に関するパンフレットや、首都  
圏で行う移住フェアの内容を同封す  
れば、コストをかけないピンポンイン  
トマーケティングができるのでは。  
〔市長〕 大変有効なアイデアをい  
ただいた。ぜひ実行していきたい。

## 第2期総合戦略と

### 大館のまちづくりについて

田村 儀光 議員（令和会）  
たむら のりみつ



〔問〕 2020～23年度の後期基本計画と20～24年度の第2期総合戦略の骨子案の協議が始まつたようだが、戦略の目玉は何か。また、施政方針に掲げた「外に強く、内に優しい」とは具体的にどういうことか。

〔市長〕 現戦略の四つの基本目標を維持し取り組んでいく。まず「ひとづくり」では若者の就労・結婚への支援を拡充し、ふるさとキヤリア教育の取り組みを推進するほか、子供や子育ての視点を大切にしたキッズデザインのまちづくりに取り組む。「暮らしづくり」ではバリアフリーのまちづくりを推進。「ものづくり」では6次産業化の取り組みに対する支援、外国人労働者の受け入れ体制の整備など、生産性向上と働き手不足解消に取り組む。「物語づくり」では滞在型観光のさらなる推進を図るため、地域間交流・関係性人口の

拡大を図る。このほか、四つの目標に関連する「スポーツを通じて人が育つ、まちも育つまちづくり」にも取り組む。「外に強く、内に優しく」とは市政の方向性を示したものである。「外に強く」とは、広域連携による産業及び観光の振興を進めること、本市と思いを同じくする自治体との連携を強化することである。「内に優しく」とは市民の誰もが安全・安心に暮らすことができるまちを目指す「暮らしをつなぐまちづくり」を進めていくものである。

〔問〕 2年後には新大館駅舎が完成予定、今年中には大町の旧正札ビル、花岡の旧大館工業が解体完了予定であるが、完成後のまちづくりの計画は。

〔市長〕 大館駅前地区は観光交流の玄関口として、大町周辺は歴史まち歩きのシンボルとして、花岡地区スポーツやリサイクル産業の拠点として、長所を生かしたまちづくりに取り組んでいく。こうしたエリアに、子供から高齢者まで幅広い世代が集い互いに学び合う場が生まれ「住んでよし・訪れてよし」「大館に生まれてよかつた」「大館で暮らせてよかつた」と思えるまちづくりにを進める。※他5点の質問は議事録を参照願います。

## 一般質問

一般質問の全文は、12月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

小・中学校の暑さ対策は遮光カーテンで  
対応することだったが、

各学校で検証したのか  
ささじま あいこ  
笹島 愛子 議員（日本共産党）



いく。

加齢による難聴者への補聴器購入時の助成について、助成要件や助成率など、どこまで具体化できたのか。

〔問〕 6月議会で質問した後、市

ことしの暑さは尋常ではない。猛暑・残暑・炎暑などの言葉が毎日のように聞かされた。このようないなか、各校にエアコンが必要ではないかと以前に質問したら「遮光カーテンなどで対応したい」旨の答弁だけが、各校どのような検証をしたのか。

〔教育長〕 暑さ対策として「西日が入る教室等への遮光カーテンの設置」という案も検討したが、このことについて全校から聞き取りした結果、必要な箇所には「よしず」など既に設置済みである等の理由で、新たな設置を求める要望はなかつたが、扇風機を複数台使用し、風通しをよくするために教室の戸や欄間を外すなど、夏季の気温と子供たちの状況を把握しながら、適切な対応をして



# 常任委員会から

大館市議会には4つの常任委員会があり、それぞれが所管する議案等の審査をしています。ここでは、9月定例会の主な審査内容と今年度実施した行政視察の概要をお知らせします。

後期基本計画の期間は令和2年度から5年度。キッズデザイント教育のプログラム構築、官民連携によるスポーツコミュニティの設立、障害者や高齢者等にやさしいバリアフリーのまちづくりなどが主な取り組みとして盛り込まれている。また、第2期総合戦略では子供の遊び場の整備や子育て家庭への経済的支援、未来技術を活用したスマート農業・林業の展開推進、労働力確保に向けた外国人労働者の受け入れ体制の整備などが盛り込まれている。委員からは「現状をきちんと把握し、本当に困っている市民の声を聞いて、計画に反映させてほしい」との意見が出された。



建設が進められている本庁舎

後期基本計画の期間は令和2年度から5年度。キッズデザイント教育のプログラム構築、官民連携によるスポーツコミュニティの設立、障害者や高齢者等にやさしいバリアフリーのまちづくりなどが主な取り組みとして盛り込まれている。また、第2期総合戦略では子供の遊び場の整備や子育て家庭への経済的支援、未来技術を活用したスマート農業・林業の展開推進、労働力確保に向けた外国人労働者の受け入れ体制の整備などが盛り込まれている。委員からは「現状をきちんと把握し、本当に困っている市民の声を聞いて、計画に反映させてほしい」との意見が出された。

現在の進捗状況は8月末時点です17・8%。今年度は本庁舎建設工事と並行して、オフィス環境整備業務（第3期）・敷地内アスベスト調査業務を実施。令和3年5月の開庁に向けて順調に進められている。

## 第2期総合計画後期基本計画と 第2期総合戦略の骨子案 について

### 本庁舎建設事業の 進捗状況について

## 行政視察

○令和元年7月30日～8月1日

### 公用車のカーシェアリング 事業について

#### 名護市カーシェア導入 実証事業について (沖縄県名護市)

#### 地域応援ステッカー事 業について (沖縄県宜野湾市)



名護（なご）市にて



宜野湾（ぎのわん）市にて

名護市では、日産自動車と連携して電気自動車を4台リースし、平日は公用車として、土日・祝日は一般人が利用できる「カーシェア」実証事業を行っている。電気自動車を活用したカーシェアは全国初の取り組みであり、公用車不足の解消や観光客の交通手段、また、環境への好影響も期待されている。

宜野湾市では、災害や孤独死など、行政だけでは対応できない多様化・複雑化している課題について、自治会や地域住民だけではなく、事業所とも連携し、課題解決に取り組んでいる。加入事業所にステッカーを提供してPR。まさに、行政と地域、事業所が一体となって、防犯・環境・交通安全等、多くの地域課題の解決に取り組んでいる。

総務財政常任委員会

## 市立総合病院の組織機構改正(案)について

市立総合病院は、令和2年4月に予定する組織機構改正案を示した。入院患者に対する入院から退院までの一貫した患者サービスの提供ができる体制整備を図るため、診療局の「相談センター」「地域連携室」、事務局の「相談支援係」「地域連携係」の4係を統合した「患者サポート係」を新設することと併せて、経営分析及び計画立案の強化を図るため、企画推進係と経営係を統合して「経営企画係」を新設する案と、電子カルテ等医療情報管理の強化と効率化を図るために、新たに「医療情報係」を新設する案が示された。

### へき地保育所等の保育について

子ども課は、市のへき地保育所などのうち、本年度利用者が10人を切った矢立保育所、成章保育ルーム森のおうちにについて、今後の在り方を保護者やへき地保育所連携委員会等と意見交換する。

子ども・子育て支援事業計画（2015～19年度）では、へき地保育所や児童館について「利用者が10人を下回った場合は地元と協議する」としている。

今年4月1日現在、矢立保育所（定員35人）は利用者が8人、森のおうち（定員30人）は7人とのことである。

### 認知症あんしんサポート事業所認定事業について

認知症高齢者数は、2025年に65歳以上の約5人に1人に達すると見込まれている。

認知症の人とその家族が住み慣れた地域で安心に暮らすことができるよう、見守りなどにより支え合う地域づくりを目指す。

10月1日に認定証の交付式が行われる。

## 行政視察

### 認定子育てサポート事業について

○令和元年10月2日～10月4日

子ども・子育て支援の取り組みについて  
**(大阪府柏原市)**



柏原（かしわ）市にて



大阪狭山（おおさかさやま）市にて

認定子育てサポート事業について  
**(大阪府大阪狭山市)**

柏原市では、「子どもも大人もいきいきと輝く都市（まち）かしわら」を基本理念に柏原市こども未来プランを策定し、子育て支援・教育・保育の総合的な提供、保育の量の確保、地域の子ども・子育て支援の充実を図っている。また、要保護児対策事業や子どもの貧困対策にも積極的に取り組んでいる。

大阪狭山市では、子育てや保育経験のある市民を対象に子育てサポートを認定し、地域での子育て支援活動の展開を図っている。サポートは子育てに関する助言、地域での乳幼児や保護者の居場所づくり、保育園等での絵本の読み聞かせ、子育て支援センター事業等への協力などの活動を行っている。

# 常任委員会から

大館市議会には4つの常任委員会があり、それぞれが所管する議案等の審査をしています。ここでは、9月定例会の主な審査内容と今年度実施した行政視察の概要をお知らせします。

## 教育産業常任委員会

### ウッドスタート宣言

暮らしに木を取り入れる木育活動「ウッドスタート宣言」を行、全国でウッドスタート宣言をしている多くの自治体や全国ブランドの企業と木材活用連携のマッチングを図り、地産木材の利用を促進する。さらに木育に関する全国ネットワークへの参加による地産外商促進、広報活動などの展開を図るとした。また、誕生祝い品として地元木材を使つたおもちゃの開発を進め、新生児に贈呈することや、未就学児等に対する木育活動・自然体験活動を推進する「木育インストラクター」に40名が認定された。



ボッチャ タイ王国代表チームの事前キャンプ  
(タクミアリーナ)

暮らしに木を取り入れる木育活動「ウッドスタート宣言」を行、全国でウッドスタート宣言をしている多くの自治体や全国ブランドの企業と木材活用連携のマッチングを図り、地産木材の利用を促進する。さらに木育に関する全国ネットワークへの参加による地産外商促進、広報活動などの展開を図るとした。また、誕生祝い品として地元木材を使つたおもちゃの開発を進め、新生児に贈呈することや、未就学児等に対する木育活動・自然体験活動を推進する「木育インストラクター」に40名が認定された。

このほか、木育空間整備事業として、女性センターの託児室を改修し、子育て中の親子が遊べる部屋を新設することが報告された。

来年開催される東京2020パラリンピックに出場が見込まれるタイ王国のボッチャ及び陸上競技の代表選手が、市内でキャンプを実施する。選手がパラリンピックにおいて本来の力を発揮できるよう、受け入れ体制を整えていくとした。

## スポーツコミッショングの設立について

○令和元年7月30日～8月1日 行政視察

### 設立の経緯と法人化までの取り組みを視察 (山口県宇部市)



宇部（うべ）市にて

宇部市では、スポーツコミッショングを設立し、誰もが、体力、興味、目的などに応じて、身近な地域でスポーツに親しめるよう、市民参加型プログラムやイベント、スポーツ・ヘルスツーリズムなどの取り組みを進め、「スポーツを楽しむ元気な人の元気なまち」の実現と「健康長寿のまちづくり」を推進している。さらに平成30年11月に法人化され、①市民の健康づくり・体力づくり②スポーツによる交流促進と地域活性化③年齢や障害の有無等に関係なくともにスポーツを楽しむことができる共生社会の実現を事業の三本柱として取り組んでいる。

周南市では、住民ボランティアが「里の案内人」として、移住者が地域コミュニティに溶け込むお手伝いをしている。また、地域の良さの紹介や暮らし方の相談に乗り、移住検討者の不安を解消している。さらに、お試し暮らし住宅や移住ツアーを開催し、受け入れ体制の整備に取り組んでいる。

### 「里の案内人」制度など 移住促進の取り組みを視察 (山口県周南市)



周南（しゅうなん）市議会議場にて

## 建設水道常任委員会

### 旧正札竹村本館棟の解体工事

8月31日現在、1階までの解体を終え、地階の解体に着手している。周辺建物や道路などになるべく影響を与えない範囲で地下残留物ができるだけ残さないよう作業を進め、整地後は碎石を敷き、ならす予定としていること。

解体後の土地利用については、民間事業者主体による再整備の協議を進めながら、さまざま角度から中心市街地の振興に努めたいとの方針が示された。

### 新水道ビジョン策定 状況

来年度から10年間の上水道事業の方針を定める新水道ビジョン策定について、新ビジョンの素案が示された。理想像として「時代や環境の変化に対応して的確に対応しつつ、水質基準に適合した水が、必要な量、いつでもどこでも、誰でも合理的な対価をもって、持続的に受け取ることが可能な水道」また、目指すべき方向性として「健全経営と人員確保・維持管理により将来にわたる水の安定供給」「美

味しく安全な水をすみずみまで「災害に強い水道づくりで不便を最小限化」が示された。これらはまだ「素案」の段階であり、今後、新水道ビジョン懇話会において、9月定例会で議会から出された意見等を反映させ、修正しながら来年3月末の策定を目指すとしている。



～先進地の取り組みを視察してきました～

## 行政視察

### 道路等の 破損対策について

○令和元年7月24日～7月26日

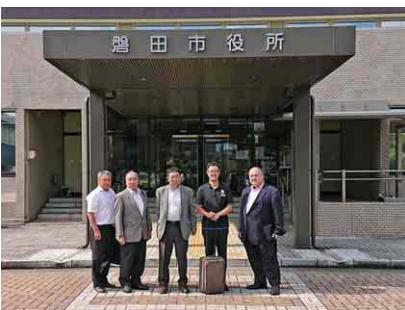
#### 土木スマート通報システム (静岡県浜松市)



浜松(はままつ)市にて

浜松市では、スマートフォンの画像撮影機能とGPS機能を一体で活用する道路等の破損箇所通報システムを構築し、市民が、より手軽に破損箇所の通報ができるようとしている。市民から寄せられた道路等の破損箇所の画像とGPSの位置情報をよって正確で具体的な情報を得られるようになり、迅速な対応が可能となつた。市民協働の一つの形として取り組まれている。

#### まち美化パートナーリー制度 (静岡県磐田市)



磐田(いわた)市にて

磐田市では、身近な道路や公園等公共施設の美化（清掃・草刈り、道路の簡易補修等）を、各市民団体と行政が役割分担を定め、両者のパートナーシップのもとで進められている。市民は、各団体の活動にボランティアとして参加し、市は団体の活動に必要な消耗品・用具を支給、貸与するほか、参加者の傷害保険料を負担しサポートしている。平成30年度現在、227団体（延べ2万6243人）が市とパートナーシップを結び、町の美化に取り組んでいる。

# 平成30年度 決算特別委員会

## ① 平成30年度一般・特別会計決算

(特別委員会を設置し、9月19日、20日、24日に審査を行いました)

### 【一般・特別会計決算特別委員会】

(◎印 委員長 ○印 副委員長)

◎石垣 博隆(令和会) ○小畠 新一(公明党)  
武田 晋(令和会) 佐藤 久勝(令和会)  
伊藤 肇(令和会) 日景 賢悟(令和会)  
阿部 文男(令和会) 田中 耕太郎(令和会)  
富樫 孝(市民の風) 相馬 卫ミ子(市民の風)  
吉原 正(市民の風) 菅 大輔(市民の風)



審査の様子

平成30年度大館市介護保険特別会計歳入歳出決算・・・起立採決により認定

その他の平成30年度大館市一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算・・・全会一致で認定

## ② 平成30年度企業会計決算

(特別委員会を設置し、9月25日、26日に審査を行いました)

### 【企業会計決算特別委員会】

(◎印 委員長 ○印 副委員長)

◎岩本 裕司(市民の風) ○柳館 晃(令和会)  
藤原 明(令和会) 佐々木 公司(令和会)  
花岡 有一(令和会) 佐藤 真平(令和会)  
田村 儀光(令和会) 笹島 愛子(日本共産党)  
田村 秀雄(市民の風) 佐藤 芳忠(市民の風)  
明石 宏康(市民の風)



審査の様子

平成30年度大館市各企業会計の歳入歳出決算

全会一致で認定

# 議会報告会を開催します

市議会では、議会の議決結果や委員会での審査内容などを市民の皆様にご報告、意見交換を行うため、本年度は次の8会場で議会報告会を開催します。



平成30年度 議会報告会の様子（大葛地区）

どなたでも、どの会場にも参加でき、事前のお申し込みなどは不要です。皆様のご来場をお待ちしています。



## 《議会報告会の日程表》

期 日	時 間	会 場
11月14日(木)	午後2時～4時	北地区コミュニティセンター本館 研修室
	午後7時～9時	二井田公民館 講堂
11月15日(金)	午後2時～4時	田代公民館 第4・第5研修室
	午後7時～9時	上川沿公民館 第1研修室
11月16日(土)	午後7時～9時	比内公民館 第9研修室
	午後7時～9時	城西小学校 体育館
11月17日(日)	午前10時～正午	中央公民館 第1・第2研修室
	午後7時～9時	長木公民館雪沢分館 講堂

# 私もひ・と・こ・と 第37回

藤井志保さん（白沢）



自然で心地よい育児を学ぶ  
「いくがく教室」、くつろぎ処  
としょ木漏れ日を運営。たん  
ぽぽ摘みや紫蘇収穫など、季  
節を堪能する日々です。

離れていた私が地域のためにと言う  
のはおこがましい気がして、まずは  
「自分が楽しいこと」をし、楽しい  
輪を広げていきたいです。

活動を通して大館の『人』の力に  
感動しています。応援しに来てくだ  
さつたり、助言をいただきたり…。  
「大館をもつと良く」という思いに  
触れ、その中で活動できることを誇  
りに思います(そしていつか教員と  
して地元に貢献したいです)。

大館市には自然、文化、施設、  
『人』など多くの財産があります。  
これまで気づかなかつた大館の魅力  
を再発見する日々です。それらが十  
分活かされた未来が築かれるよう、  
変化を恐れない議論が議会でなされ  
ることを願っております。

「私もひ・と・こ・と」のコーナー  
では、みなさんからの「なまの声」  
を募集しています。

議会事務局までご連絡ください。

— 地元の魅力を  
再発見する日々 —

日本語教師や高校教員を経て、四月から約十年ぶりに大館での生活が始まりました。埼玉での生活は便利でしたが、心地よいと感じる生活とは違いました。自身の生活を見直した時、発酵食に魅力を感じ、食事や日用品、育児など、人にとって「本当にいいもの」は何だろうと考えるようになりました。

いくがく教室では、情報が溢れ何が正解か判断しづらい時代だからこそ、「本当に必要なものは?」「体

## 編集後記



( 笹島 愛子 記)

今年の暑さ、皆さんはどうに乗  
り切りましたか。

連日「猛暑」とか「酷暑」、または  
「災暑」などという言葉が流れました。  
議会中は「クーリビズ」の実施によ  
り、市長はじめ、議員や市職員はポロ  
シャツなど軽装対応なので、とても樂  
です。

特に議会は「親しみやすい!」との  
声も聞かれます。

ぜひ傍聴に来てください。そして、  
ご意見もお寄せください。

定例会と臨時会の本会議はどなたでも傍聴できます。

傍聴をご希望される方は、市役所東側（裁判所側）3階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従って議場へお入りください。

☎ 43-17108 (直通)

市議会を傍聴してみませんか